



# アップグレード前の正常性検査ユーティリティ

- [Hypercheck: アップグレード前チェック ツール \(1 ページ\)](#)
- [アップグレード資格のテスト \(1 ページ\)](#)

## Hypercheck: アップグレード前チェック ツール

シスコはアップグレードの前に Hypercheck 正常性チェック ツールを実行して、すべてのアップグレード要件が満たされていることを確認することを推奨します。[Hypercheck: Hypercheck とアップグレード前チェック ツール](#)は、アップグレード前にクラスタが正常であることを確認するために設計された、健全性およびアップグレード前の自動チェックです。この正常性チェックを実行するだけでなく、正常でないと判明したすべてのクラスタに対して修正措置を講じることが必要です。続行する前に、Hypercheck 正常性チェックによって報告されたすべての問題を修正します。

Hypercheck ツールを実行しない場合は、第 14 章の手動チェックリストを参照してください。これらのチェックは Hypercheck ほど包括的ではないため、手動検証は推奨されません。

## アップグレード資格のテスト

Cisco HyperFlex リリース 4.0 (2a) 以降では、[アップグレード (Upgrade)] ページに、最後のクラスタアップグレード資格テストの結果と、UCS サーバ、HX data platform、および ESXi の最後のテスト済みバージョンが表示されます。

UCS サーバファームウェア、HyperFlex Data Platform、ESXi をアップグレードする前に、[Upgrade (アップグレード)] ページのアップグレード資格テストを実行して、アップグレードに対するクラスタの準備状況とインフラストラクチャの互換性を検証します。



(注) アップグレード適格性テストでは、現在実行中のHyperFlexデータプラットフォームバージョンに含まれる検証を使用します。ターゲットHXバージョンに存在する新しい検証は含まれません。

アップグレード資格テストを実行するには、次の手順に従います。

1. **[アップグレード (Upgrade)] > [アップグレード資格のテスト (Test upgrade 適格性)]** を選択します。
2. UCS サーバファームウェアのアップグレード資格をテストするには、**[UCS サーバファームウェア (UCS server firmware)]** チェックボックスをオンにします。

Cisco UCS Manager の FQDN または IP アドレス、ユーザ名、パスワードを入力します。**[現行バージョン (Current Version)]** フィールドで、**[検出 (Discover)]** をクリックして、アップグレード前に検証する必要がある UCS ファームウェア パッケージのバージョンを選択します。

3. HyperFlex Data Platform のアップグレード資格をテストするには、**[HX Data platform]** チェックボックスをオンにします。

vCenter のユーザ名とパスワードを入力します。アップグレードの前に検証する必要がある Cisco HyperFlex Data Platform アップグレードバンドルをアップロードします。

4. ESXi のアップグレードの適格性をテストするには、**[ESXi]** チェックボックスをオンにします。

vCenter のユーザ名とパスワードを入力します。アップグレードの前に検証する必要がある Cisco HyperFlex カスタム イメージ オフライン バンドルをアップロードします。

5. **[検証 (Validate)]** をクリックします。

アップグレード資格テストの進行状況が表示されます。